

住民の安心・安全を第一に

引き続き県に要望していく

問 復興事業について、北浜災害公営住宅が完成し、入居者説明会が昨年11月7日に開催された。その時に擁壁の曲がりや段差、地盤沈下、水路等の説明があったが、入居する方々から「暮らすのが不安である」との声が上がっている。町では解決に向け、県との協議をどのように進めていくか。

佐藤町長 町としても住民の方々の安心を確保す

ることが最も大切と考えている。以前から改修に向けて県にも出向いて協議したところであるが、その対応策、スケジュールを確認したところ、検討中とのことだった。今後もできるだけ早く改修し、住民の安心を確保してもらうよう引き続き県に要望していく。



阿部吉衛議員
(無所属)



地盤沈下が見られた県営北浜アパート

今後の副町長の体制は

国・県と町のパイプ役

問 町では現在副町長2人体制となっている。鈴木副町長が町に来てもうすぐ3年目を迎えるが、鈴木副町長が抱えている課題等がたくさんあると思う。今後の副町長の体制について、町長の考えは。

町長 鈴木副町長の派遣は、2年前に創設された地方人材支援制度によるもので、赴任先として本町を選定していただいた。

国家公務員としての経験を生かし、これまで予算獲得や政策策定など多岐にわたり力を発揮している。集大成としての成果を期待するためにも、もう1年の延長を国に要請している。